

意見1 観光に訪れる人も蒲郡で一日過ごして生活する住民として考えてはどうか。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
19	4-1 まちづくりに関わる人たち	「まちで過ごす人」＝地区内で生活する人、全市民、交流圏域の人、観光に訪れる人
21	5-1 東港地区の将来像	市民やまちを訪れる人たち（「来訪者」＝観光客や交流圏域の人を含めた人たち）が、それぞれの日常の一部として歩いて過ごしたくなる、居心地の良い「海辺のまち」
意見2 海を眺めながら生活の豊かさや質など自分で意味づけできる場所になるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
29	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 海辺の空間を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ	誰もが穏やかな三河湾を感じながら、それぞれが思い思いに過ごせる空間を社会実験等による試みから始め、徐々に作り上げていくことが考えられます。
36	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ 良好な景観を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ ●竹島を眺めながら過ごす空間の形成	海への眺望の良い場所や、誰に気兼ねすることなく静かに過ごせる場所等にベンチを設けるなど、各所に居心地の良い空間を創出することが考えられます。
意見3 例えば、水族館などで色々なことを発見できるといった遊びを通して学べるように、体験しながら学べる仕掛けができるとうい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
23	5-2 東港地区での「まちづくり」の役割 (2)「人・コト・モノ」の繋がりが、まちづくりの可能性を高める	公共施設や民間施設等と繋がることで、人々が快適に過ごし、楽しみながら学び、創造していく場や空間が形成されるなど、地区のさらなる発展にも期待が寄せられます。
意見4 海辺を歩くことができるまち、「蒲郡に住んでいいね」と言われる場所を創っていくことが大切。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
21	5-1 東港地区の将来像	「竹島が浮かぶ三河湾に抱かれた、誰もが過ごしたくなる 居心地の良い まち」

意見5
費用をかけずに小さなプロジェクトから初めて、まちを変えていけるとよい。

頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
25	5-3 エリア別の目指す姿 (1) 蒲郡駅周辺市街地エリア ②エリア内の将来イメージ 公民連携のまちづくりや民間事業者により活用される、まちなかの公共空間 ●駅前広場	例えば、駅前広場にイスとテーブルを置いて移動販売店が飲食を提供するなど、ちょっとした空間を設けることで、ワクワクとした雰囲気やまちに期待感が生まれ、人々の交流が芽生えはじめます。
29	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 海辺の空間を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ	社会実験等による試みから始め、徐々に創り上げていくことが考えられます。

意見6
・竹島が望める眺めのいい場所で、ワーケーションなどができるカフェができるとよい。
・竹島の有料駐車場を移転して活用できるとよい。

頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
36	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ 良好な景観を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ ●新しい日常の創造	民間事業者のアイデアとノウハウ等を活かした提案や施設整備を積極的に誘導し、「新しい日常」が提案されることが期待されます。

意見1
蒲郡駅から竹島まで、自然に人が流れる動線作りをして、何気なく歩くことができるまちができるとよい。

頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
21	5-1 東港地区の将来像	「竹島が浮かぶ三河湾に抱かれた、誰もが過ごしたくなる 居心地の良い まち」
38	6-2 主要回遊動線の創造に向けた検討	各種資源等を関連づけた、歩きたくなる「動線の物語性」を考える

意見2
蒲郡に訪れる人がおいしい魚が食べられる飲食店や土産物が変わる店舗などが充実できるとよい。

頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
21	5-1 東港地区の将来像	東港地区に求める将来像には二つの姿 ～ ～ 一つが、「遊びや学びの機能が充実し、来訪者にも満足してもらえる活気や賑わい」

27	5-3 エリア別の目指す姿 (1) 蒲郡駅周辺エリア ②エリア内の将来イメージ まちの賑わいなどエリア全体の魅力を高めていくことによる、まちなかの土地利用の進展 ●事業用地や公的不動産の新たな活用	まちの魅力向上により、空き地、空き家、空き店舗等における新たな起業や店舗立地等が期待できます。
30	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 海辺の空間を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ ●海辺の飲食・物販の店舗	三河湾の魅力的な景観をゆっくりと眺めながらすごしたくなるカフェやレストラン等の飲食店等、「まちで過ごす人」が利用する施設の充実を図る
37	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ エリアの魅力向上により期待する周辺の変化 ●来訪者が利用する飲食店などの充実	竹島周辺の美しい景観を堪能しながら休憩ができる飲食店等の立地が期待できます。
意見3 高齢者の増加を考えると高齢者も歩けるようなまちづくりの工夫を入れる必要がある。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
29	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 海辺の空間を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ	若者、子育て世代、お年寄り等の誰もが穏やかな三河湾を感じながら、それぞれが思い思いに過ごせる空間を
38	6-2 主要回遊動線の創造に向けた検討	新たなモビリティの導入等、誰にとっても安全・快適な「移動手段のあり方」を考える

意見1 100年以上船に関わる歴史があるため、船を利用したまちづくりを組み込んでもらいたい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
31	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 「みなと」の機能を活かした人流・交流 ●海上交通機能	「海辺のみなとエリア」には、かつて竹島ふ頭等が担っていた海上交通機能がある港の姿が望まれています。地域の魅力向上や土地利用の進展等に伴い、海上交通の市場性が生まれていくことにより、ICT を用いるなど時代に即した姿で海上交通機能が復活することが期待されます。

意見2 GOGO三河湾協議会で取り組む4つの市町で三河湾をクルージングで海を繋いでいる。これを拡大していけるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
31	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 「みなと」の機能を活かした人流・交流 ●海上交通機能	三河湾クルーズ等による他の港等と連携した観光面での拡大も期待できます。

意見1 事業に取り組むにあたり対象者を明確にする必要がある。		
回答		
具体的な公民連携のまちづくりを推進していく中で、「まちを育てる人」と共に目的等を見据えながら取り組みを支援していきます。		
意見2 「市民と一緒に」が難しいところであるため、市民の巻き込み方を考える必要がある。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
22	5-2 東港地区での「まちづくり」の役割 (1) 「人」の繋がりが生まれ循環する	まちづくりに関わる人や組織の関係性を一層深め、継続した対話ができる環境の構築を目指します。

意見1 水際の良い景観があるため、ゆっくり過ごせるよう、歩道を芝生で作るなど、発展性、応用性のある空間づくりを考えるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
29	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 海辺の空間を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ	誰もが穏やかな三河湾を感じながら、それぞれが思い思いに過ごせる空間を社会実験等による試みから始め、徐々に作り上げていくことが考えられます。
36	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ 良好な景観を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ ●竹島を眺めながら過ごす空間の形成	例えば、海への眺望の良い場所や、誰に気兼ねすることなく静かに過ごせる場所等にベンチを設けるなど、各所に居心地の良い空間を創出することが考えられます。

意見2

蒲郡は高台から見た景観もきれいである。上から見た蒲郡も考えるとよい。

回答

「蒲郡市景観計画（平成31年4月策定）」において、「本市特有の自然とまちなみが調和する眺望景観」を景観特性の一つと捉えており、眺望景観に影響を及ぼす恐れのある建築行為などに対する景観形成基準を設けて、景観を保全することから取り組みを始めています。今後、将来の景観像として掲げている「東海道にてすぐれたる 海のながめは蒲郡 訪れる人が癒され 住む人が誇れるまち」の実現に向けて、景観行政の中で市民と共に取り組んでまいります。

意見1

まちづくりを進める上で能動的に動くことが大切であるため、外部からの考え方を取り入れることも必要である。

頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
19	4-1 まちづくりに関わる人たち	「まちを育てる人」自ら行動し、相手や物事に対して積極的に働きかけることのできる人 ・市内で生活する人 ・経済活動する人（市内外問わず） ・多様な価値観でモノ・コトを創造する人
20	4-3 まちづくりに関わる人たちの役割 (2) 官民対話による事業推進	公的不動産への民間活力（アイデア、ノウハウ、ファイナンス）の導入による、賑わいや居心地が良いと感じる場の創出
22	5-2 東港地区での「まちづくり」の役割 (1) 「人」の繋がりが生まれ循環する	まちに魅力を感じて集まってくる「人（まちで過ごす人）」たちにより、活気や賑わいが生まれます。 そうした中で集まった「人（まちで過ごす人）」同士が接点を持ち、言葉を交わしながら交流が進むことで、互いが深く繋がり、長く良好な関係を築いていけることに期待が寄せられます。また、やがては自らが「まちを育てる人」にもなっていく可能性を秘めていることや、まちの可能性を感じて関わってくる人などが、まちづくりを担う新たな人材として、また新しい価値観を持った産業やライフスタイルを創造していく人材としても期待されます。
29	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ ●若者が過ごしたくなるアクティビティな空間	自らが願う施設や機能を、公民連携の取り組みの中で、みんなで力を合わせて実現していくなど、「まちで過ごす人」が「まちを育てる人」として行動することも大切です。

意見1 ・市長が言う「みんなの力でまちづくり」は、色々なエネルギーを使いたいという発想であり、継続して意見交換するキャッチボールしていく場が必要である。 ・キャッチボールする場には、コーディネーター、人々の発想に柔軟に対応するステージづくり、先にある目標が必要である。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
22	5-2 東港地区での「まちづくり」の役割 (1)「人」の繋がりが生まれ循環する	全文 「東港地区でのまちづくり」は、様々な得意分野を持った多様な「人（まちを育てる人）」たちが、個々の活動だけではなく、互いが繋がり、協力しながら進めていくことが大切です。これにより、新たな発想や活動等の「コト」が動き出し、まちに魅力を感じて集まってくる「人（まちで過ごす人）」たちにより、活気や賑わいが生まれます。 そうした中で集まった「人（まちで過ごす人）」同士が接点を持ち、言葉を交わしながら交流が進むことで、互いが深く繋がり、長く良好な関係を築いていけることに期待が寄せられます。また、やがては自らが「まちを育てる人」にもなっていく可能性を秘めていることや、まちの可能性を感じて関わってくる人などが、まちづくりを担う新たな人材として、また新しい価値観を持った産業やライフスタイルを創造していく人材としても期待されます。 このように、「東港地区でのまちづくり」は、「人」が繋がることで「コト」が動き出し、それに惹きつけられて集まる新たな「人」たちがさらに繋がっていく、「循環する場と機会」であると位置づけて、まちづくりに関わる人や組織の関係性を一層深め、継続した対話ができる環境の構築を目指します。

意見1 松原線をきれいに整備しているが、あまり人が歩いていない。島根県境港市の水木しげるロードが参考になると感じた。		
回答 今後、公民連携のまちづくりと官民対話の事業推進により、具体的なまちの姿を見出しながら取り組んでまいります。		
意見2 市民が集まる場所になり、市民が誇れるような場所でありたいと思う。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
21	5-1 東港地区の将来像	この「まちづくりビジョン」では、市民、来訪者等「まちで過ごす人」の誰もが、日常的に、何度でも訪れたくなる「居心地の良い」空間の提供を目指すこととしています。
意見3 土地利用の規制がある国定公園内の土地がうまく活用できるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
36	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ ●新しい日常の創造	三河湾国定公園内に位置し、静かに流れる時間とゆとりある良質な空間の活用が考えられる竹島周辺では、民間事業者のアイデアとノウハウ等を活かした提案や施設整備を積極的に誘導し、「新しい日常」が提案されることが期待されます。

意見1 歴史的背景からも海への思いの中にまちづくりのヒントがあるように思う。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
15	2-2 時代の変遷から見えてくる東港地区	全文
36	5-3 エリア別の目指す姿 (3) 竹島周辺エリア ②エリア内の将来イメージ 良好な景観を活かして、日常的に過ごしたり、体験したりできるコンテンツ	エリアに残る豊かな自然や歴史・文化に裏打ちされた魅力的な景観を活かし、市民や来訪者が、ゆっくりと過ごすことができる様々な場や空間等を創出していきます。
回答		
今後のまちづくりの中で、これまでの歴史・文化を見返して取り組む雰囲気作りも重要であると考えています。		
意見2 現状、散歩での利用がある程度はある一方ほとんど利用しない人が多いのは、エリアへのアクセス性を分析すると見えてくるものがあるのではないか。		
回答		
アンケート結果をもとにクロス集計を行いました。また、今後のまちづくりにおいてアンケート結果を活用して取り組むことも検討してまいります。		
意見3 「みなとオアシス」を広範囲に広げていけるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
28	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ①エリアの目指す姿	各施設の充実を図り、エリア全体が『みなとオアシスがまごおり』として発展することを目指します。
回答		
今後、施設整備を進めていく中で、随時、「みなとオアシス」として認定をいただきながら取り組んでいきたいと考えています。		
意見4 歩いて過ごす中に、健康増進の意味を含めるとよいのではないか。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
23	5-2 東港地区での「まちづくり」の役割 (2) 「人・コト・モノ」の繋がりが、まちづくりの可能性を高める	「人・コト・モノ」の繋がりが一層強固なものとなり、ひいては「子育て環境に適した良好なまちの形成」、「歩いて過ごせる空間のある健康増進に寄与するまちの形成」、「海が身近な存在となり海やみなとに対する愛着の醸成」等に対する効果が期待できます。

意見1 昔から大きく変わった点として市民も観光客も海に目が向いていないが、心がりフレッシュでき、自分を見つめ直すこともできるため、まちづくりに海を活かす必要がある。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
16	2-2 時代の変遷から見てくる東港地区	<p>観光地として賑わった蒲郡でしたが、視点を変えれば、特に竹島周辺は、昔は市民の海水浴の場として、また近年においても潮干狩りや小学生の遠足、写生大会の場等として親しまれ、さらには竹島の八百富神社が参拝や祭礼の場となるなど、地域住民に広く愛されてきた場所でもありました。</p> <p>このように、東港地区は、現在、竹島や竹島水族館等により観光地としてのイメージが強い場所ではありますが、市民から長く愛されてきた場所とも言えます。</p> <p>近年、産業振興等を目的とした埋立てやふ頭の整備等により、市民の海やみななどに対する意識は薄れ、足が遠退いていたものの、「市民アンケート調査」からは、東港地区のうち、特に「海辺のみなとエリア」や「竹島周辺エリア」を、「散歩の場」や「休息の場」として、日常的に利用している人が大勢いること、またそうした環境を今後も望む声が多数あることが分かりました。</p> <p>これらのことから、東港地区は、観光地としてだけでなく、市民生活にも深い繋がりを持った地区として、観光客と市民の双方に着目したまちづくりを進めていくべき場所であると考えます。</p>
28	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ①エリアの目指す姿	三河港の人流・交流を担う「みなとオアシスがまごおり」として、誰もが楽しく海を感じながらひと時を過ごせる、居心地の良い海辺の空間
31	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 「みなと」の機能を活かした人流・交流 ●「みなとの交流拠点」となる新・竹島水族館	かつては関係が深かった「人」と「みなと」と「海」の関わりを取り戻すきっかけとなる場所、また、他のエリアや施設を有機的に繋ぐ核となる場所を目指します。
意見2 大きな施設は作らず、小さなコンテンツを少しずつ増やしていくやり方がよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
34	「海辺のみなとエリア」の実現に向けて解決が必要な事項	■将来イメージに表す現時点の土地利用として想定する図
回答 34 頁の「■将来イメージに表す現時点の土地利用として想定する図」やイメージ図のように大きな施設を作ることは想定せずに、広い空間を確保して多目的に活用ができる空間が実現できればと考えています。		

意見3 集客性が高い水族館をうまく使って、海や他の地域に人を広げて、晴れた気持ちや幸せになれるなどにつながるとよい。		
頁	まちづくりビジョンの項目	意見を反映した記載又は関連する記載内容
31	5-3 エリア別の目指す姿 (2) 海辺のみなとエリア ②エリア内の将来イメージ 「みなと」の機能を活かした人流・交流 ●「みなとの交流拠点」となる新・竹島水族館	かつては関係が深かった「人」と「みなと」と「海」の関わりを取り戻すきっかけとなる場所、また、他のエリアや施設を有機的に繋ぐ核となる場所を目指します。

意見1 まちづくりビジョンに残す“余白”の部分が見えてこない。そのため、対象者が誰なのかも見えないのではないか。	
回答 まちづくりビジョンでは、市が考えるまちの姿や方向性及びイメージを示しますが、具体的な賑わいの姿や施設等の整備については行政側で決めずに、「まちを育てる人」や民間事業者などとの対話により見出しながら「みんなの力でまちづくり」を実践していく姿勢を示して、まちづくりに取り組んでまいりたいと考えています。	
意見2 海辺のみなとエリア以外の行政課題も示したほうが良いのではないか。	
回答 各エリアに存在するまちの課題については、「2-1 時代の変遷」の最後で現状を記載しています。 第1回の策定委員会資料では、「海辺のみなとエリア」の実現に向けた行政課題」としていたものを「海辺のみなとエリア」の実現に向けて解決が必要な事項」と表現を見直しました。	

意見1 ・目的を持ってきてもらえる施設や食べ物などの名物といった動機付けができるとよい。 ・他の港町にあって、ここにかけているもの考えることも必要だと感じる。 ・海や歴史などの資源と3つのエリアを有機的に結びつけるもの考えるとよい。	
回答 公民連携のまちづくりの推進により、「まちを育てる人」と共に見出していきたいと考えています。また、民間事業者との対話の中で市場性のある施設整備も見ながら検討してまいります。	

意見1

今のふ頭用地は何も使われていなく非常にもったいない。イメージしていることを実現するためには港湾計画を変えて、状況を変えていけるとよい。

回答

今回のまちづくりビジョンを策定するは、港湾計画を変更する動機付けになるものと考えて取り組んでいますので、引き続きご協力をお願いいたします。

意見2

健康の観点から、駐車場は作らずに訪れる方も歩きや自転車で回ることができるとよい。

回答

主要回遊動線の創造に向けた検討として、「アクセス性と回遊性の向上に着目した、「自動車等駐車場のあり方」を考える」を掲げております。現在、存在する駐車場機能を無くすことは難しいところがあると思いますので、施設毎ではなく、エリア全体の中での駐車場のあり方が検討できればと考えています。